

平成29年度下半期に実施した主な事業【ひと】

事業名	内容
子育てサロン事業	◆乳幼児の父親向けのイクメン講座を子育てサロン綾瀬、子育てサロン東保木間、子育てサロン千住、新田児童館子育てサロンで合計8回実施し、357名の方に参加していただきました。 ◆子育てサロンのスタッフに向けて、妊産婦と新生児の知識についてのスキルアップ研修を実施しました。 ◆千住大橋地域において、子育てサロンの新設（開設は平成30年4月7日）準備をしました。
学童保育室運営事業	保護者が就労や疾病等により保育できない家庭の児童（小学生）を対象に、放課後等に適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図りました。 ◆施設数 113室 ◆定員 4,544人
文化・読書・スポーツ活動協創推進事業	区民の方に対して、運動のレクリエーションの楽しさを伝え、運動意欲の向上を図ると共に、東京2020大会の気運醸成を目的に、各種イベントを実施しました。 ◆スポーツカーニバル 日時 平成29年10月9日（月・祝） 会場 全13会場 参加者 7,358人 ◆あだちスポーツチャレンジ 開催期間 平成29年11月～平成30年2月 会場 総合スポーツセンターほか3施設 参加者 515人（計4事業） 障がい者スポーツの更なる普及、および「こころのバリアフリー」推進を目的として、「障がい者スポーツ推進月間」イベントを開催しました。 ◆障がい者スポーツ推進月間 開催期間 平成30年1月～3月 会場 総合スポーツセンターほか2施設 参加者 1,629人（計6事業）
文化・読書・スポーツ活動協創推進事業	年齢性別の枠を超え、バリアフリーに楽しむことができる「おはじきサッカー」の区内展開を実施しました。 ◆おはじきサッカー体験イベント参加者：916人 また、東京2020大会に向け日本文化を再発見し、体験することができる事業として「ジャパン フェスタ イン アダチ」を実施しました。 ◆イベント参加者数：3,846人
こども未来創造館事業	子どもたちが科学、運動、ものづくりプログラムなどを通じ多くの体験をしました。また、3月の「春フェス」ではプログラム活動の成果を発表しました。 ◆利用者数751,077人（※10月～3月西新井文化ホール分（82,390人）含む）
ワーク・ライフ・バランスの推進事業	区民まつりで、WLB推進認定企業提供のパネル展示やクイズの実施など啓発活動を行いました。区内中小企業への周知・啓発を行い、認定審査会を経て57社を認定しました。 ◆新規7社 更新50社
ひとり親家庭総合支援事業【ひとり親家庭交流事業（サロン豆の木）】	ひとり親家庭の皆さん同士が、仕事、生活、子育て等の悩みや相談、情報交換をする場です。定期的に開催しており、毎回様々なイベントや講座を行いました。 ◆開催期間 平成29年10月～平成30年3月（月2回、第2・第4土曜日実施） ◆実施回数 12回 ◆参加親子数 延べ185組410人 年間では、22回実施し、364世帯788人が参加しました。

あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)の推進事業	妊娠期には妊娠届出時アンケートから支援の必要な妊婦を把握し、保健師等が訪問・電話等により支援を実施しました。また、出産後には赤ちゃん訪問、3～4か月児健診を実施することにより、切れ目のない支援を行いました。 ◆ 特に指導・支援が必要と判断した妊婦に対し、保健師が訪問した実人数 169人 ◆ こんにちは赤ちゃん訪問延人数 2,195人
ユニバーサルデザイン推進事業 【評価対象外】	「足立区ユニバーサルデザイン推進計画」に基づき、平成28年度に実施した個別施策について、ユニバーサルデザイン推進会議において評価を行いました。 また、平成29年度も各所管課で上記計画の個別施策を実施しました。
教育政策管理事務 【学校ホームページ運用支援】	学校の情報発信力の向上および教員の多忙軽減を図るために、支援員を派遣し、学校ホームページの運用を支援しました。 ◆実施校 全104校 ◆支援回数 原則1校月1回
教育政策管理事務 【小学校図書館支援委託】	民間事業者の専門的なノウハウを活用し、学校図書館の環境整備、読書活動の推進など、学校図書館の活用充実に向けた支援をしました。 ◆実施校 小学校全69校 ◆支援回数 週1回 6時間／1回
学力向上対策推進事業 【中学校図書館支援員の配置】	中学校全35校の図書館に学校図書館支援員を配置し(各校1人)、図書の整理や新書情報の発信、調べ学習のサポートなどを行い、生徒たちの学習や読書活動の充実に向けた環境を整備しました。 ◆中学校 図書館支援員 35人 (平成30年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【英語チャレンジ講座】	「英語大好き」な中学生を育成するために、中1前期で英語への苦手意識が芽生え始めた生徒を対象に、民間教育事業者の日本人・外国人による補習を行いました。 ◆参加登録者 454人 ◆各校日本人レッスン6回、外国人レッスン2回実施 ◆実施校数 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【数学チャレンジ講座】	該当学年に習得すべき基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせ、進学時の不安の解消、つまずきの深化防止、学力定着と学習意欲の向上を図ることを目的とし、中1、中2の数学の基礎的な学習の定着に課題が見え始めた生徒を対象に、民間教育事業者による補習を行いました。 ◆参加登録者 1,183人 ◆各校 全5回(100分/1回) ◆実施校数 中学校全35校
学力向上対策推進事業 【英語教材作成支援ツール】	生徒の英語への抵抗感をなくし、英語力をアップさせるため、NHK「基礎英語」「ラジオ英会話」で使用された対話文や音声を利用して、教材を作成するツールを導入しました。 ◆実施校数 中学校全35校

学力向上対策推進事業 【英語マスター講座】	文法・語彙力の向上と英語活用力を身に付けた「英語大好き中学生」を育成するため、オンライン英会話を活用した委託事業を実施しました。 ◆参加生徒数 90人 ◆講座 各曜日(月・水・金)21回実施
学力向上対策推進事業 【大学連携事業】	児童・生徒・教員の英語力向上に向け、明海大学との協定に基づく連携事業を展開しました。 ◆大学教授・准教授による小・中学校教員指導訪問 ◆児童・生徒と留学生の交流学习事業の実施(西新井小、西保木間小、竹の塚中、入谷南中)
学力向上対策推進事業 【英語学力4技能調査モデル実施】	新学習指導要領に対応したスピーキングテストを取り入れた英語学力調査を、モデル事業として実施しました。 ◆実施校 区内中学校5校 ◆第2回調査受検者数 中学1年生357人
学力向上対策推進事業 【小中連携事業】	小学校から中学校への円滑な移行と児童・生徒の学力定着のために、各連携校が交流活動や授業研究などに取り組みました。 全小中学校(小69校、中35校)で実施しました。 ◆全連携校グループで平均3回程度実施
学力向上対策推進事業 【足立はばたき塾】	成績上位で学習意欲も高いが、経済的理由等により、学習塾などでの学習機会の少ない中学3年生を対象に、民間学習事業者を活用した「足立はばたき塾」を実施しました。 ◆参加登録者 91人 ◆定期講座 19回(土曜日実施) ◆集中講座 5日間(冬季休業期間)
学力向上対策推進事業 【教科指導専門員配置】	児童・生徒の基礎学力定着には教員の指導力向上が不可欠であるため、教科指導専門員が巡回指導を行い、教員の授業改善・内容充実への指導・助言を行いました。 ◆教科指導専門員 小学校38人 中学校35人 (平成30年3月31日現在)
学力向上対策推進事業 【そだち指導員配置】	特定科目の学習理解につまずきがある児童に対し、そだち指導員が別教室において、個別学習指導を行い、つまずきの早期解消を図りました。 ◆小学校 そだち指導員 78人 (平成30年3月31日現在)
教職員の研修事務 【多層指導モデル】	特殊音節(のびる音・つまる音・ねじれる音)のつまずきを早い段階で把握し、適切な指導を行うMIM(多層指導モデル)に全小学校で取り組むとともに、教員を対象にMIM研修会を2回実施しました。 ◆参加者延べ137人 (10月70人、12月67人)
教育課題解決への取組事務 【よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート調査事業】	よりよい学校生活と友達づくりのために、学級集団の状況と学力の定着に関する児童・生徒への実態調査を行い、調査結果から児童・生徒の潜在的な不満・不安を把握し、安定した学校経営を計画的に行うよう努めました。 ◆実施校 希望校78校(小55校、中23校)
学力向上対策推進事業 【生活指導員配置】	適切な学習環境の維持と向上を図るため、生活指導員を中学校に配置し、生徒の生活面での指導を支援しました。 ◆中学校 生活指導員 28人 (平成30年3月31日現在)

幼児教育振興事業	◆幼児教育推進研修 教育・保育の質の向上のため、幼稚園教諭・保育士を対象とした研修を実施しました。 実施回数 60回 参加者 1,225人 ◆幼保小連携活動 職員間の相互理解を深めると共に、子どもたちがスムーズに小学校へ就学できるよう、ブロック会議、職員交流、子ども同士の交流、体験給食などに取り組みました。 ◆家庭への啓発活動 家庭での子育てのポイントを掲載したリーフレット(足立っ子すくすくガイドリーフレット、あだち5歳児プログラム家庭版)を各家庭に配付しました。
放課後子ども教室推進事業	地域の方々の協力により、小学校施設(校庭や教室など)を活用し、児童の放課後の安全安心な居場所を提供しました。 ◆実施校 小学校69校 ◆実施延日数 6,171日 ◆実施延人数 373,529人
小・中学校給食業務運営事業 【おいしい給食の推進】	おいしい給食事業PRとして、あだち区民まつり「A-Festa2017」に出展し、揚げパン販売や給食で使用するパンの展示などを実施しました。 ◆実施日 平成29年10月7日(土)・8日(日) ◆揚げパン販売数 1,600個(チラシ配布枚数531枚) 区内小・中学生を対象に給食メニューコンクールを実施し、上位入賞者各10組を表彰しました。また、受賞作品の中から小・中学生それぞれ1作品を全小・中学校の給食として提供しました。 ◆応募総数 6,835点 ◆表彰式 平成29年10月19日(木) ◆受賞作品給食実施 12月11日(月)～15日(金)のうち各校で実施
自然教室事業	小学5・6年生、中学1年生を対象に自然や地域文化に親しみ、体験をする2泊3日の自然教室を実施しました。 ◆小学5年生(鋸南) 36校 ◆小学6年生(日光) 15校 ◆中学1年生(魚沼) 3校
区立中学校の改築事業	適正規模・適正配置のガイドラインに基づき、鹿浜菜の花中学校の施設更新を行いました。

家庭教育推進事務	「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するとともに、保育園、幼稚園等の保護者の子育て学習、交流等の仲間づくり活動の支援や、毎月の家族ふれあいの日の取り組み、子育てアドバイザー連絡会の活動を支援することで、家庭教育の充実を図りました。 ◆「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダー配布(年間) 156園(区立保育園子ども園、私立保育園、私立幼稚園子ども園、認証保育所) ◆子育て仲間づくり活動(年間) 参加団体数 59 参加者数 25,124人 ◆家族ふれあいの日 年間利用者数 延べ 149,211人
発達障がい児支援事業	◆「敷居の低い相談窓口の設置」「学齢期へ支援をつなぐ」を目的として、障がい福祉センターからこども支援センターげんきに事業を移管しました。 ・相談件数 485件 ◆発達支援児に対しては、発達支援委員会での審議内容を報告書として送り、個別計画などの作成に役立てるとともに、専門職を在籍園に派遣し、きめ細やかな対応をしました。また、入学後の学校に 伝えることで 支援の継続を図りました。 ・発達支援委員会開催 5回 394人審議 ・学校訪問 小学校 26校45回 中学校 7校14回 ◆保育所等に対し肢体不自由児への対応スキルを得るため、作業療法士を採用しました。 ・保育所等訪問 66回 ◆入学時の不安軽減のため、年長の児童に対し、就学予定の学校の間を活用し、就学に向けての練習プログラムを試行実施しました。 ・小学校2校試行実施 計4人プログラム参加
こどもと家庭支援事業 【不登校対策支援事業】	各学校における不登校児童・生徒への取り組みを支援するため、登校サポーターを派遣し、家庭へのお迎えや学校での別室登校の対応を行いました。 ◆登校サポーター 延べ44人 ◆対象児童・生徒 141人 ◆派遣経費 延べ3,051時間／3,051千円
体験学習推進事業	区内大学と連携し、未就学児・小・中学生と大学生との交流や学習意欲向上を図る体験活動を実施しました。 ＜帝京科学大学連携＞ ◆ふれあい動物教室(小) 6校 595人 ◆大学遠足 2回 103人 ◆のびのびプレイディ(未) 1回 484人 ＜東京電気大学連携＞ ◆科学・ものづくり体験教室(小) 1回 86人 ＜東京藝術大学連携＞ ◆音楽教育支援活動 37回 7,522人 ＜伝統文化関連＞ ◆あだち子ども百人一首大会 1回 全小・中学校 103校 420人 ◆あだち子ども将棋大会(小) 1回 176人

保育士確保・定着対策事業	◆保育士等住居借上げ支援事業 保育事業者が保育士等の職員用宿舎として区内に住居を借上げた場合に、借上げに要した費用の一部を補助する事業です。(268人) ◆保育士奨学金返済支援事業補助金 奨学金を利用して保育士資格を取得し、区内の保育施設等に勤務する常勤保育士を対象に、奨学金の返済にかかる費用の一部(補助限度額10万円／年度)を補助する事業です。(92人)
私立保育園施設整備助成事業	◆認可保育園の14園新規開設に伴い、内装工事費等に係る整備費用を助成しました。その結果、993人分の定員増を実現しました。 ◆伊興すみれ保育園及び西新井聖華保育園の建替えに伴い、建設費用等の助成を行いました。その結果、32人分の定員増を実現しました。
保育施設整備事業	小規模保育施設3所及び認証保育所1所の新規開設に伴い、内装工事費や建物賃借料に係る費用を助成しました。その結果、90人分の定員増を実現しました。
養育困難改善事業	要保護児童の早期発見・支援のネットワーク会議や講座を実施しました。 ◆要保護児童対策地域協議会(地区連絡会議) 延べ393人参加 ◆子育て交流講座(完璧な親なんていない) 延べ17人参加 ◆怒鳴らない子育て講座 延べ78人参加
私立認定こども園事業	◆支援を要する児童の受入れ拡大のため、私立認定こども園に対して、補助員雇用に当たっての助成を始め、教育・保育環境の向上に努めました。
保育園の運営事務／公立保育園の管理運営事務	◆公立保育園に対して、人材派遣職員及び臨時職員を適切に配置することにより、安定した園運営の実施に努めました。
幼稚園教育奨励助成事業	◆長時間の預かり保育を実施している幼稚園に対する助成について、対象園を拡大しました。その結果、前年度の7園から9園に拡大し、年間延べ預かり人数は2,222人から3,412人に増加しました。

子ども施設指導検査事務	教育・保育施設等の質の向上のため、子ども・子育て支援法に基づく指導検査を実施しました。 ◆認可保育園 6事業所 小規模保育施設 10事業所 教育・保育施設等の実地調査を行い、教育・保育の質の向上のための指導助言を行いました。 ◆認可保育園 62事業所 小規模保育施設 24事業所 家庭的保育事業所 156事業所 認証保育所 31事業所
地域型保育事業	保育が必要な方に小規模保育事業者等による保育サービスを提供し、小規模保育事業者等に対し運営費を支払いました。 ◆34施設(区内24施設、区外10施設) 延べ2,526人利用 運営費等の支払い 647,495千円
認証保育所等利用者助成事業	認証保育所の月極契約利用者の保育料負担軽減をするための助成を行いました。29年度から、従来の年齢区分・所得に応じた助成に加え、多子世帯に対する助成を開始しました。 ◆57施設(区内40施設、区外17施設) 延べ9,373人利用 158,390千円助成